

# 2025年3月期第2四半期 システナ決算説明会

---

## 目次

### ■ 会社概要

#### ■ 1. 2025年3月期第2四半期決算概要（連結）

:2025年3月期第2四半期業績

:セグメント別第2四半期業績

#### ■ 2. 2025年3月期連結業績予想と取組み

:2025年3月期通期業績予想

:セグメント別の取組み（見通し）

### ■ 経営の基本方針と目標とする経営指標



## 会社概要

## 会社概要

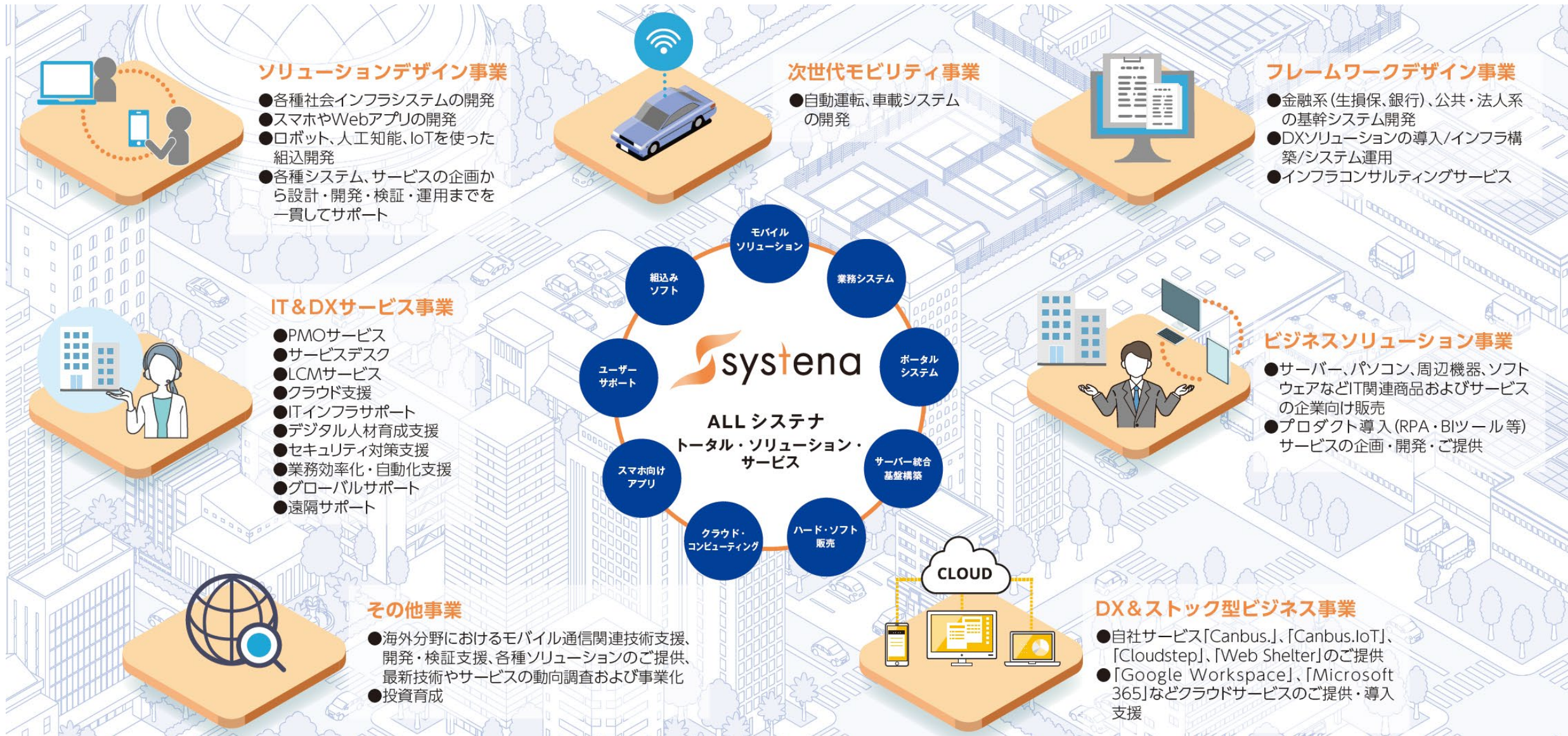
- ・ 社名 株式会社システナ
- ・ 設立 1983（昭和58）年3月
- ・ 決算月 3月
- ・ 上場市場 東証プライム市場
- ・ 資本金 15億1,375万円
- ・ 発行済株式数 425,880,000株
- ・ 取締役
 

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 逸見 愛親 |
| 取締役社長   | 三浦 賢治 |
| 専務取締役   | 逸見 真吾 |
| 常務取締役   | 小谷 寛  |
| 取締役     | 田口 誠  |
| 取締役     | 藤井 宏幸 |
| 社外取締役   | 小河 耕一 |
| 社外取締役   | 伊藤 麻里 |
| 社外取締役   | 逸見 圭朗 |
| 社外取締役   | 黒崎 力蔵 |
- ・ 監査役
 

|         |        |
|---------|--------|
| 常勤社外監査役 | 有田 敏二  |
| 社外監査役   | 中村 嘉宏  |
| 社外監査役   | 阿田川 博  |
| 社外監査役   | 徳尾野 信成 |
- ・ 従業員数 単体:4,267名/連結:5,758名  
(2024年10月1日現在)

| 事業名              | 事業内容                                                                                                                                                     |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ソリューションデザイン事業    | ▶各種プロダクト製品、通信事業者サービスの企画・設計・開発・検証支援<br>▶ネットビジネス、業務用アプリ、Webサービス、社会インフラ関連システム、IoT、人工知能、ロボット関連サービスの企画・設計・開発・検証支援                                             |
| 次世代モビリティ事業       | ▶完成車メーカーやサプライヤー向けを中心に、自動車業界へのエンジニアリングおよびMaaSなどの自社サービスの提供                                                                                                 |
| フレームワークデザイン事業    | ▶金融系（損保・生保・銀行）、産業系、公共系、その他の基幹システムの開発<br>▶基盤系システムの開発                                                                                                      |
| IT & DXサービス事業    | ▶ヘルプデスク・ユーザーサポート、システムの運用・保守、PMO、データ入力、大量出力、ソフトウェアテスト・QA、DX支援などのITアウトソーシングサービスの提供                                                                         |
| ビジネスソリューション事業    | ▶サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどIT関連商品の企業向け販売<br>▶基盤構築、仮想化などIT機器に関わるサービスの提供<br>▶RPAソリューションの提供                                                                    |
| DX & ストック型ビジネス事業 | ▶自社サービス「Canbus.」、「Cloudstep」、「Web Shelter」の提供<br>▶「Google Workspace」、「Microsoft 365」等クラウド型サービスの提供、導入支援<br>▶DX推進を支援するPMOおよびディレクションサービスとしての「Canbus.Lab」の提供 |
| その他              | ▶海外分野として、モバイル通信関連技術支援、開発・検証支援、各種ソリューションの提供や最新技術やサービスの動向調査・事業化<br>▶投資育成分野として、スマホやタブレット向けゲームコンテンツの企画・開発・販売                                                 |







## ■ グループ会社

|               | グループ会社                                                                                                                                      |                          | 資本金／出資比率                   | 業務内容                                                                                                         |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国内連結子会社 ▶     |  ProVision                                                 | 株式会社ProVision            | 8,500万円<br>99.6%           | ・モバイル端末アプリおよびインターネットコンテンツの開発 支援・品質評価を中心とした総合ネットサービス事業                                                        |
|               |  東京都第三セクター企業<br>東京都ビジネスサービス株式会社                            | 東京都ビジネスサービス 株式会社         | 1 億円<br>システナ51%・東京都49%     | ・データ入力、大量出力、メーリング、発送代行、事務局代行、事務処理代行<br>（東京都との共同出資による重度障害者雇用モデル企業）                                            |
|               |  株式会社ティービーエスオペレーション                                        | 株式会社ティービーエスオペレーション       | 4,000万円<br>東京都ビジネスサービス100% | ・障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業及び就労継続支援事業<br>・しょうがい者等のための就労訓練事業                                                        |
|               |  IDY                                                       | 株式会社IDY                  | 6,500万円<br>76.7%           | ・IoM®（IoT/M2M）5Gゲートウェイ、LTEルーター、DCM端末およびIoM®向けアンテナ、5G・LTEフェムト基地局の開発と製造、販売                                     |
|               |  GaYa                                                      | 株式会社GaYa                 | 7,500万円<br>100%            | ・スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供<br>・受託開発・開発支援                                                                    |
| 国内持分法適用関連会社 ▶ |  MINGAL                                                    | 株式会社ミugal                | 1億円<br>60.0%               | ・土業に関するクラウドサービスの開発・販売・保守運用                                                                                   |
|               |  HiS Group<br>HOKUYO INFORMATION SYSTEM<br>HISホールディングス株式会社 | HISホールディングス株式会社          | 9,500万円<br>25.0%           | ・システム構築、パッケージソフト開発・販売、情報機器の販売<br>・札幌を拠点としたニアショア開発                                                            |
| 海外連結子会社 ▶     |  systema                                                  | Systema America Inc.     | 2,800万米ドル<br>100%          | ・米国でのモビリティおよびモバイル関連のソフトウェア開発・検証支援事業、自社商材Canbus.を活用した企業のDX支援事業、スタートアップ活用のコンセプト事業開発、米国における最新技術やサービスの動向調査および事業化 |
|               |  systema                                                 | Systema Vietnam Co.,Ltd. | 20万米ドル<br>100%             | ・ソフトウェア開発・品質評価<br>・運用・保守<br>・ITサービス全般                                                                        |
| 海外持分法適用関連会社 ▶ |  STRONGKEY                                               | StrongKey, Inc.          | 765万米ドル<br>28.8%           | ・セキュリティ対策のためのデータの暗号化及びパスワードレス認証Webサーバーの開発・販売<br>・FIDO認証、PKI、トークナイゼーションソリューションの開発・販売                          |
|               |  one                                                     | ONE Tech, Inc.           | 600万米ドル<br>50.0%           | ・製造業における製造工程やデータ監視の効率化を目的としたAIソリューション、MicroAI（エッジAI）の開発・販売                                                   |



## 1. 2025年3月期 第2四半期決算概要（連結）

## 2025年3月期第2四半期業績

### 2025年3月期第2四半期決算概要（連結）

（百万円）

| 売上高及び段階利益            | 2025年3月期 |       | 前年同期比      |       |       |       |
|----------------------|----------|-------|------------|-------|-------|-------|
|                      | 上期実績     | 利益率   | 上期<br>前年実績 | 利益率   | 増減額   | 増減率   |
| 売上高                  | 40,092   | —     | 37,521     | —     | 2,571 | 6.9%  |
| 営業利益                 | 5,573    | 13.9% | 4,368      | 11.6% | 1,205 | 27.6% |
| 経常利益                 | 5,410    | 13.5% | 4,334      | 11.6% | 1,075 | 24.8% |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 3,726    | 9.3%  | 2,976      | 7.9%  | 750   | 25.2% |

### 業績の概要（連結）

- ・ 経営資源の再配置や生産性の向上
- ・ 収益確保のためのストック型ビジネスに注力
- ・ ソフトウェア開発ビジネス等におけるDX推進を支援するコンサル業務やPMO案件といった付加価値の高いビジネスの拡大を推進

### 主な財務指標

（百万円）

| 指標     | 2025年3月期<br>2Q末 | 2025年3月期<br>1Q末 | 増減      |
|--------|-----------------|-----------------|---------|
| 自己資本   | 30,237          | 34,850          | △ 4,612 |
| 有利子負債  | 1,550           | 1,550           | 0       |
| 負債資本倍率 | 5.13%           | 4.45%           | 0.68%pt |
| 自己資本比率 | 66.7%           | 70.8%           | △4.1%pt |



## セグメント別（売上高/営業利益 前年同期比）

### ■ ソリューションデザイン事業 : 8,957百万円 (▲4.1%) / 1,457百万円 (+81.2%)

- ・ 社会インフラ分野、プロダクト分野、DXサービス分野に向けて開発領域のクロステック化を捉えて当社の他本部との連携と体制変更による改善で顧客へのアプローチを強化
- ・ 人材の再配置や効率的な活用を行うことで、顧客の課題解決のための提案を推進し、新たな需要の掘り起こしに繋がる

### ■ 次世代モビリティ事業 : 2,229百万円 (+109.3%) / 812百万円 (+300.9%)

- ・ モバイル開発で培った経験を活用して、IVI、CDCなど車載コックピット、車載ソフト開発の受注が拡大
- ・ SDVを支援する自社サービスへの積極的な投資と活動により引き合いが増加
- ・ シェアリングやモビリティを通じた周辺サービスの引き合いも堅調
- ・ システナアメリカとの共同プロジェクトを開始

### ■ フレームワークデザイン事業 : 3,869百万円 (+16.7%) / 804百万円 (▲0.2%)

- ・ 金融分野は基幹系システムの保守開発を中心に堅調に推移し、顧客接点強化に向けた新サービス開発、クラウド利活用など、DX関連案件の引合いが増加
- ・ 公共分野はマイナンバーを起点した開発案件が増加し、受注拡大に繋がり、インフラ関連でもガバメントクラウドへの移行案件が拡大し、売上拡大を牽引
- ・ ローコード開発を中心に、DXソリューション対応力を強化し、ラボ体制での保守・開発一体のサービスにより、顧客ニーズの獲得を進め、受注拡大に繋がる

## セグメント別（売上高/営業損益 前年同期比）

### ■ IT&DXサービス事業 : 9,489百万円 (+6.0%) / 1,187百万円 (▲13.1%)

- ・ 新たなビジネスモデルを創造する企業から業務の標準化や自動化に関する引き合いが旺盛
- ・ 各種ツールの導入後の運用推進やビジネスプロセスの再構築といった業務改善を支援する伴走型PMOサービスの拡大に注力
- ・ 顧客のIT投資計画やITイベントに対して新たなサービスメニューの提案にも着手
- ・ DX検証サービスでは、ネットビジネス/ゲーム領域顧客の状況が厳しい中、これまでの知見を活かし、エンタープライズ領域の既存顧客深掘りと新規開拓を強化

### ■ ビジネスソリューション事業 : 13,812百万円 (+3.8%) / 1,081百万円 (+11.7%)

- ・ 円安や資源高、物価高など、先行き不透明感はあるものの、DXやAIの活用による競争力強化に向けた営業活動を強化
- ・ システムインテグレーション事業は、デジタル化に向けたクラウド環境への移行、システム開発、保守サービス案件を受注
- ・ Windows10のサポート終了(2025年10月)に伴うリプレイス案件も第2四半期に入り増大、下期の計画も増大しているため、更なる提案活動を強化
- ・ ロードマップの把握から、IT機器の導入、インフラ構築、クラウドの活用、システム開発、保守運用に至る高付加価値のワンストップサービス案件が増大

### ■ DX&ストック型ビジネス事業 : 1,494百万円 (+20.5%) / 224百万円 (+40.5%)

- ・ 生成AIと「Canbus.」を活用したDX化の引き合いが旺盛
- ・ 「Canbus.」を利用中の顧客から、DXを推進するための業務改革のPMOやインテグレーションが増加
- ・ 特定業種向け、特定の用途に特化した形で、「Canbus.」のラインナップの幅を広げるためにサービス企画を推進

| 売上高及び段階利益            | 2024年3月実績 |        |        |        |        |        |        | 2025年3月期 | （百万円）<br>上期比較 |
|----------------------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|---------------|
|                      | 1 Q       | 2 Q    | 上期     | 3 Q    | 4 Q    | 下期     | 通期     | 上期<br>実績 | 増減            |
|                      |           |        |        |        |        |        |        |          |               |
| 売上高                  | 18,734    | 18,787 | 37,521 | 19,619 | 19,800 | 39,419 | 76,940 | 40,092   | 2,571         |
| 営業利益                 | 1,909     | 2,458  | 4,368  | 2,657  | 2,688  | 5,345  | 9,713  | 5,573    | 1,205         |
| 経常利益                 | 1,781     | 2,553  | 4,334  | 2,760  | 2,846  | 5,607  | 9,942  | 5,410    | 1,075         |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 1,220     | 1,756  | 2,976  | 1,868  | 2,388  | 4,256  | 7,232  | 3,726    | 750           |

前年同期比較（セグメント別）

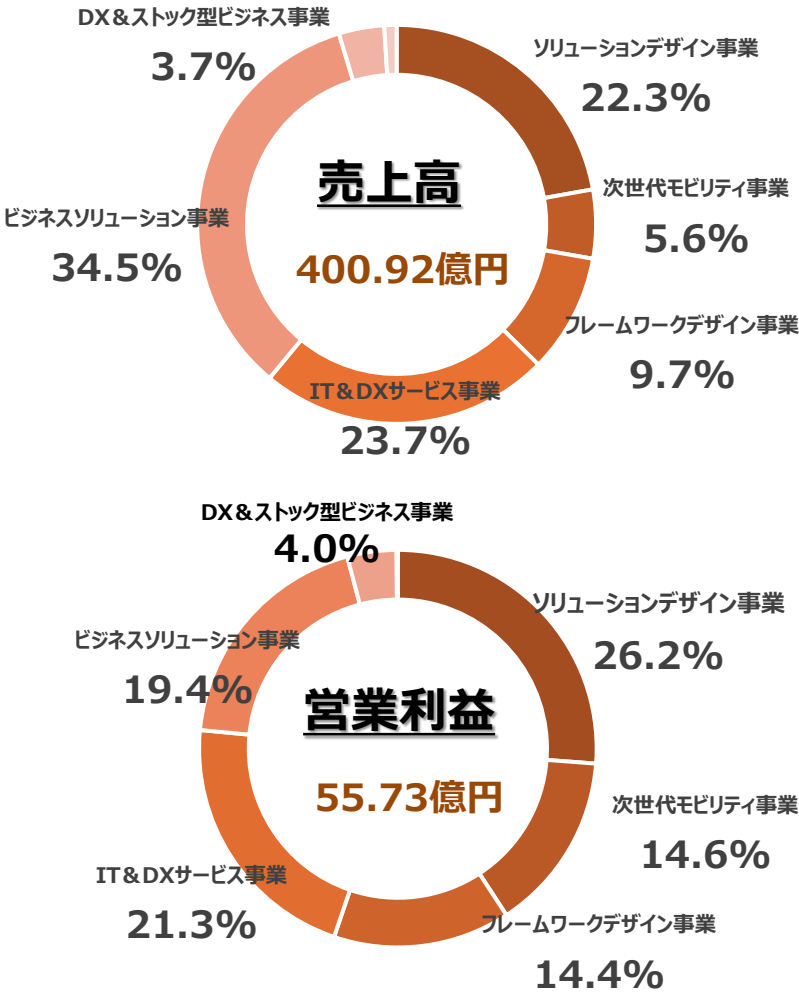
| 事業セグメント        | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 上期比較   | 上期    |
|----------------|----------|----------|--------|-------|
|                | 上期実績     | 上期実績     | 増減率    | 利益率   |
| ソリューションデザイン事業  | 9,341    | 8,957    | ▲4.1%  | 16.3% |
|                | 803      | 1,457    | 81.2%  |       |
| 次世代モビリティ事業     | 1,064    | 2,229    | 109.3% | 36.5% |
|                | 202      | 812      | 300.9% |       |
| フレームワークデザイン事業  | 3,314    | 3,869    | 16.7%  | 20.8% |
|                | 806      | 804      | ▲0.2%  |       |
| IT&DXサービス事業    | 8,949    | 9,489    | 6.0%   | 12.5% |
|                | 1,367    | 1,187    | ▲13.1% |       |
| ビジネスソリューション事業  | 13,302   | 13,812   | 3.8%   | 7.8%  |
|                | 967      | 1,081    | 11.7%  |       |
| DX&ストック型ビジネス事業 | 1,239    | 1,494    | 20.5%  | 15.0% |
|                | 159      | 224      | 40.5%  |       |
| その他事業          | 514      | 428      | ▲16.7% | 1.6%  |
|                | 60       | 6        | ▲88.8% |       |

\*（上段）売上高（下段）営業利益

| （参考）2024年3月期 実績 * 外部売上のみ |       |       |       |
|--------------------------|-------|-------|-------|
| 1 Q                      | 2 Q   | 3 Q   | 4 Q   |
| 4,688                    | 4,641 | 4,612 | 4,679 |
| 315                      | 488   | 575   | 835   |
| 504                      | 560   | 650   | 796   |
| 79                       | 123   | 187   | 252   |
| 1,619                    | 1,695 | 1,758 | 1,828 |
| 351                      | 454   | 452   | 383   |
| 4,371                    | 4,467 | 4,611 | 4,629 |
| 612                      | 755   | 805   | 749   |
| 6,924                    | 6,366 | 7,244 | 6,915 |
| 512                      | 455   | 532   | 417   |
| 442                      | 790   | 281   | 676   |
| 27                       | 131   | ▲ 2   | 74    |
| 183                      | 266   | 458   | 274   |
| 10                       | 50    | 107   | ▲ 26  |

\*（上段）売上高（下段）営業利益

売上高・営業利益の構成比





## 2. 2025年3月期 連結業績予想と取組み



## 2025年3月期通期業績予想

### 2025年3月期通期業績予想

|                         | 売上高                | 営業利益              | 経常利益              | 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益    |
|-------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|----------------------|-------------------|
|                         | (百万円)              | (百万円)             | (百万円)             | (百万円)                | (円)               |
| 前回発表予想 (A)              | 85,000<br>~100,000 | 10,000<br>~12,000 | 10,000<br>~12,000 | 7,000<br>~8,400      | 18.98<br>~22.78   |
| 今回修正予想 (B)              | 85,000<br>~90,000  | 11,000<br>~12,000 | 11,000<br>~12,000 | 7,700<br>~8,400      | 21.04<br>※ ~22.95 |
| 増減額 (B-A)               | 0<br>~△10,000      | 1,000<br>~0       | 1,000<br>~0       | 700<br>~0            |                   |
| 増減率 (%)                 | 0.0<br>~△10.0      | 10.0<br>~0.0      | 10.0<br>~0.0      | 10.0<br>~0.0         |                   |
| 【ご参考】前期実績<br>(2024年3月期) | 76,940             | 9,713             | 9,942             | 7,232                | 18.67             |

※ 2024年9月20日付で自己株式2,500万株を消却したことにより、  
1株当たり当期純利益が増加しました。

### 通期業績 主な変動ポイント

- ・ 利益について、成長事業へ経営資源をシフトしたことにより、契約単価が上昇したこと
- ・ 高付加価値の案件の受注が増加し、ソリューションデザイン事業および次世代モビリティ事業を中心に利益率が向上したこと

### セグメント別の取組み（見通し）

#### ■ ソリューションデザイン事業

##### 付加価値の高い事業分野の創出を目指す

- |                             |                                                                                                   |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 成長分野への積極展開               | ・ 「社会インフラ」、「ネットビジネス」、「プロダクト」の各分野の高付加価値領域に向けて体制変更による提案力の強化で積極的に展開                                  |
| 2. 組織力強化                    | ・ 拡大してきた業界やお客様の特徴を整理し、他本部へ移管をすることでオールシステナとして付加価値を生み出す<br>・ 顧客のDXや生産性向上へ寄与するためデジタルコンサルティングを提供していく。 |
| 3. デジタルコンサルティングへ向けたより積極的な投資 | ・ デジタルコンサルティングへ展開するための人材を積極的に採用するとともに、コストパフォーマンスに優れたサービスを提供するプラットフォームへの投資を行う                      |

#### ■ 次世代モビリティ事業

##### 自動車のSDV ( Software Defined Vehicle ) 化に伴い、ソフトウェアTier1としての使命を果たす

- |                       |                                                   |
|-----------------------|---------------------------------------------------|
| 1. SDVへの積極的な展開        | ・ モバイル開発で培った経験を活用して、IVI、CDCなど車載コックピット、車載情報システムに注力 |
| 2. SDVを支援する自社サービスへの投資 | ・ モバイルとモビリティの実績をもとにSDVを支援する自社サービスへの積極的な投資を行う      |
| 3. シェアリングなど周辺サービスへの展開 | ・ 完成車へのSDV化支援だけでなく、シェアリングやモビリティを通じた周辺サービスへも積極的に展開 |

## セグメント別の取組み

### ■ フレームワークデザイン事業

金融、公共、法人それぞれで、成長分野への積極的な展開を継続し、開発ノウハウと先端技術を活用して、受注の最大化を目指す

- |                      |                                                                                |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 既存事業の最大化と成長分野への展開 | ・ 「保険／金融システム開発」、「基盤構築」を軸としたプロジェクトの継続と、「公共」、「法人」分野への積極展開を進め、<br>強固な売上基盤を作る。     |
| 2. DX案件の積極受注！        | ・ 基幹システムの刷新（マイグレーション）、クラウドサービス活用など、DX案件の受注に向けた、営業・技術両面での体制を強化                  |
| 3. 高付加価値案件の更なる拡大     | ・ DXラボを強化し「ローコード開発」、「DXソリューション」に対応したサービスを拡充<br>・ 付加価値向上に伴う競争力の強化で、収益性の更なる向上を狙う |

### ■ IT&DXサービス事業

サービスごとにフィールドを拡げながら顧客ビジネスの発展を支援するサービスの強化を目指す

- |                              |                                                             |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 1. 顧客のデジタルビジネスに向けたサービスの提供に注力 | ・ 従来型ITサポートから各種システム移行・導入やビジネスプロセスの改善・再構築といったPMOサービスの更なる拡大   |
| 2. 標準化や自動化に向けたツール導入支援        | ・ バックオフィス系部門の標準化・自動化のニーズに対するSaaSツール導入支援を推進                  |
| 3. アジャイル型開発におけるDX検証サービスの拡大   | ・ ネットビジネス/ゲームでのアジャイルテストサービスの知見を活かし、エンタープライズ領域顧客の深掘りと新規開拓を強化 |

## セグメント別の取組み

### ■ ビジネスソリューション事業

#### モノビジネスからサービスビジネスへと軸足をシフト

- |                     |                                                                               |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1. ソリューション領域拡大への投資  | ・ サービスメニューの拡充とプロフィット部門への営業展開                                                  |
| 2. ハイブリッド環境への取組み強化  | ・ ハイブリッド環境への対応強化とクラウドメーカーとのアライアンス強化<br>・ Win10EOL（End Of Life）に向けたサービスメニューの拡充 |
| 3. DX関連サービス拡大       | ・ システム開発他、マルチクラウド環境でのアプリケーションの再構築事業を強化                                        |
| 4. サービスの拡範による収益力の強化 | ・ ALL Systemaの全てのサービスをワンストップで提供                                               |

### ■ DX&ストック型ビジネス事業

#### 『Canbus.』を中心とした自社サービスへの積極的な先行投資を行い、DX分野への展開を目指す

- |                  |                                                        |
|------------------|--------------------------------------------------------|
| 1. Canbus.の販促強化  | ・ 生成AIを取り込んだサービス強化とDX推進のディレクションを付帯し、顧客の需要を取り込み新規開拓を目指す |
| 2. Canbus.の認知度向上 | ・ イベント出展、パートナーとの共同イベント、SNSマーケティングなど様々な広告宣伝活動を行う        |
| 3. サービス強化に伴う先行投資 | ・ Canbus.シリーズとして、特定業種向け・特定用途向けのサービス企画および販促活動を行う        |



## 経営の基本方針と目標とする経営指標

## ■ 経営の基本方針 「日本を代表するIT企業となり、日本経済を底辺から支える！」

その実現のために、『破壊と創造』、『安定と成長』、『保守と革新』、これら相反する課題をバランス良くコントロールし、常に振り子の中心点に経営の軸足を置いた、バランス経営を基本方針としています。

## ■ 目標とする経営指標

1. 安定した高配当
2. 高い株主資本利益率
3. 高い売上高営業利益率

その実現のために、安定と成長のバランスを重視した経営の基本方針に則り、高収益体質を目指してまいります。



**ALL Systema**



**【見通しに関する注意事項】**

本資料には将来についての予想や見通しが含まれておりますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、経済・事業環境の変化など様々な要因により変動することをご了承ください。

